

出前講座報告書

実施日時	2025年7月26日 10:00~12:00	主催者名	津軽保健生協 社会保障平和委員会
講師名	高松利昌	会場名	津軽保健生協会館
テーマ	医療制度崩壊はどこまで進む? ~国保を例に~		
参加人数	28人	報告者	高松利昌

【講座内容】

医療制度崩壊はどこまで進む

- 病院・医療機関の経営悪化
 - ・県内公立病院の約9割が赤字(2024年度)
 - ・医療機関の倒産件数・休廃業件数が過去最多
 - ・コロナ融資の返済が本格化し、経営破綻の懸念
- 政府の医療費削減政策
 - ・病床数11万床削減で1兆円の経済効果を狙う
 - ・診療報酬抑制により患者負担が増加
 - ・スイッチ OTC(医師の処方から市販薬へ)拡大方針
- 国民健康保険(国保)の財政的脆弱化
 - ・高所得層の離脱により、低所得者・高齢者中心に、生活保護受給者の国保加入も
 - ・弘前市では国保加入世帯の約半数が年収100万円未満
 - ・滞納による差押え増加や制度的な救済不足が顕著
- 地域格差と医療アクセスの限界
 - ・県内市町村国保税水準統一化へむけた県の取り組み
 - ・青森県では訪問介護の空白地域が多数存在、地域包括ケアの実質的な崩壊
 - ・公助の縮小により“自己責任”の色合いが濃くなる
- 社会保険の理念が形骸化
 - ・社会原理(助け合い・公費投入)が弱まり、保険原理(自己負担)へと偏重
 - ・資産保有層への負担強化や個人情報管理の強化により監視社会化の懸念

【質問内容】

- ・子ども子育て支援金等
- ・医療機関がない所はどうすれば?

<気づいたことや今後の教訓など>

